

『公認内部監査人資格認定試験対応 内部監査基本テキスト〈第4版〉』
(水島 正・衛藤秀三郎著)
お詫びと訂正のお知らせ

本書において、下記のとおり誤りがございました。読者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、本書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

【第1刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
23	17 行目	内部監査人に独立性が	内部監査部門に独立性が
	18 行目	果たすのあたり	果たすにあたり
	22 行目	客観性により内部監査人は	客観性があることにより、内部監査人は、
	23 行目	自己の業務の成果	自己の業務 (work) の成果
	24 行目	可能になる	できる
27	21 行目	外見上	外観上
41	下から 3 行目	内部監査の定義、	(削除)
47	図表中	感熟度レベル	成熟度レベル
50	5 行目	ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロール (GRC) の概念	ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロールの概念
	13 行目	GRC (Governance, Risk Management, Control)	ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロール
	20 行目	GRC	ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロール
51	1 行目, 2 行目,	GRC	ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロール

	8行目		
	6行目, 10行目	<u>GRC</u> プロセス	<u>ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロールのプロセス</u>
52	6行目, 9行目	<u>GRC</u>	<u>ガバナンス, リスク・マネジメント, コントロール</u>
63	最終行	倫理感	倫理観
66	13行目	7つの原則を明示	7つの原則(後の改訂で8番目の原則が加わり, 現在は8つ)を明示
69	1行目	<u>7</u> つの原則	<u>8</u> つの原則
	7行目	果たすため	<u>適切に</u> 果たすため
	18行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19行目と 20行目の 間	(新規追加)	<u>8. 機関投資家向けサービス提供者は, 機関投資家がステューワードシップ責任を果たすに当たり, 適切にサービスを提供し, インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。</u>
70	13行目	<u>2017年5月にはステューワードシップ・コードが, 2018年6月にはコーポレートガバナンス・コードが, 一部改訂されました。</u>	<u>ステューワードシップ・コードは2017年5月と2020年3月に, コーポレートガバナンス・コードは2018年6月と2021年6月に一部改訂されました。今後も2~3年に1度の改訂が予想されます。</u>
72	最終行	捕捉されかつ伝達	捕捉かつ伝達
73	8行目	その <u>双方</u>	その <u>両方</u>
	16行目	資産の <u>保護</u>	資産の <u>保全</u>
85	20行目	手続き	手続
88	4行目	手続き	手続
	「内部監 査のポイント」中	手続き	手続
89	11行目	<u>建築</u>	<u>構築</u>
	19行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
90	21行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
93	「内部監	手続き	手続

	査のポイント」中		
94	5行目	基準 <u>2210</u> . A1	基準 <u>1220</u> . A1
95	7行目	システム・セキュリティ <u>一</u> 監査	システム・セキュリティ監査
100	12行目	第 <u>24</u> 条（保有個人データに関する事項の公表等）	第 <u>27</u> 条（保有個人データに関する事項の公表等）
154	8行目	d <u>上記のいずれも該当しない</u>	d <u>業務の有効性・効率性を評価すること</u>
173	21行目	コントロールおよび <u>組織体のガバナンス</u> ・プロセスの有効性の評価、改善を、内部監査としての <u>体系的</u> <u>手法と規律遵守の態度と</u> をもって行う	コントロールおよびガバナンスの <u>各</u> プロセスの有効性の評価、改善を、内部監査の <u>専門職</u> として <u>規律ある</u> <u>姿勢で体系的な手法</u> をもって行う
175	2行目	完全な伝達とは、対象の読者に対し <u>基本的な要素</u> を欠かすことがなく、 <u>勧告</u> と結論を裏付けるすべての <u>重要で適切な</u> 情報と発見事項を含む。	完全な伝達とは、対象の読者にとって <u>非常に重要な事柄</u> を欠くことがなく、 <u>改善のための提言</u> と結論を裏付けるすべての <u>重要性が高くかつ関連する</u> 情報と発見事項を含む <u>ものである</u> 。
181	7行目	専門職的実施 <u>基準</u> の国際フレームワーク	専門職的実施の国際フレームワーク
188	1行目	発注 <u>者</u>	発注 <u>書</u>
201	5行目	a, b は該当するが c は該当しない。	a, b, <u>d</u> は該当するが c は該当しない。
209	1行目	倫理要綱	倫理綱要
	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, <u>戦略</u> ,
213	図表中	リスク・コントロール・ <u>マトリクス</u>	リスク・コントロール・ <u>マップ</u>
217	11行目	課題 <u>に</u>	課題 <u>へ</u>
219	14行目	予想 <u>所用</u> 時間	予想 <u>所要</u> 時間
225	13行目	専門職の <u>正当な注意</u> （ <u>due professional care</u> ）	専門職 <u>としての</u> 正当な注意（ <u>Due Professional Care</u> ）
232	2行目	<u>Part 1</u> で学びました	<u>229</u> 頁以降で説明済みです
242	最終行	水平的（ <u>右から左へ進む</u> ）	水平的（ <u>時間の流れを左から右へ示す</u> ）
		垂直的（ <u>上から下へ進む</u> ）	垂直的（ <u>時間の流れを上から下へ示す</u> ）

			す)
243	図表タイトル	業務の流れ図 (例)	業務の流れ図 (<u>垂直的フローチャートの例</u>)
244	4行目	水平的にビジネスフローを	水平的に <u>時間の流れに沿った</u> ビジネスフローを
	9行目	垂直的にビジネスフローを	垂直的に <u>時間の流れに沿った</u> ビジネスフローを
249	24行目	<u>補足</u> する	<u>捕捉</u> する
254	4行目	関連 <u>規則</u> 等	関連 <u>規制</u> 等
	下から2行目	第1章の	<u>本 Part</u> 第1章の
255	14行目	文書化し保存	文書化し、 <u>保存</u>
	21行目	他の <u>知識</u>	他の <u>能力</u>
	下から2行目	<u>明瞭</u> ，簡潔，建設的かつ適時的	<u>明確</u> ，簡潔，建設的， <u>完全</u> かつ適時的
259	「CIA 受験のポイント」下7行目	<u>筆者の実感は</u> ，特に監査での発見事項を被監査部門に説明する際の，論理性，説得力がとりわけ重要 <u>と</u> 思います。	特に監査での発見事項を被監査部門に説明する際の，論理性，説得力がとりわけ重要 <u>である</u> と筆者は <u>実感</u> しています。
264	19行目	<u>曲解</u>	<u>歪曲</u>
267	下から2行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は， <u>以下の</u> ことを
268	2行目	<u>それらの</u>	<u>その</u>
276	10行目	<u>知らせなければ</u>	<u>開示しなければ</u>
	11行目	「以前に自らが <u>責任を負った</u> 業務」	「以前に自らが <u>職責を有した</u> 業務」
310	下から2行目	<u>正規</u> 分布	<u>二項</u> 分布
311	3行目	財務報告に係る内部統制の監査に関する実務上の取扱い (<u>公開草案</u>)	財務報告に係る内部統制の監査に関する実務上の取扱い
325	4行目	a 各監査 <u>契約</u> の終了時	a 各監査 <u>業務</u> の終了時
364	2行目	各監査 <u>契約</u> の終了時に	各監査 <u>業務</u> の終了時に
390	8行目	(詳細は， http://www.iiajapan.com/certifications/info/20180404.html を参照)	(削除)
393	6行目	経済実態の前提	経済実 <u>体</u> の前提
426	16行目	問 <u>23・24</u>	問 <u>22・23</u>

438	11 行目	加工費とは、 <u>直接材料費・直接労務費・製造間接費</u> のこと	加工費とは、 <u>直接労務費・製造間接費</u> のこと																																																
447	解答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)				b. データ処理 (件数)				c. 資料作成 (枚数)				d. 会議・打合せ (時間)				人件費合計				<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td>640</td> <td>288</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td>160</td> <td>30</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td>400</td> <td>80</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>2,000</td> <td>998</td> <td>1,002</td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)	800	600	200	b. データ処理 (件数)	640	288	352	c. 資料作成 (枚数)	160	30	130	d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320	人件費合計	2,000	998	1,002
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)																																																			
b. データ処理 (件数)																																																			
c. 資料作成 (枚数)																																																			
d. 会議・打合せ (時間)																																																			
人件費合計																																																			
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)	800	600	200																																																
b. データ処理 (件数)	640	288	352																																																
c. 資料作成 (枚数)	160	30	130																																																
d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320																																																
人件費合計	2,000	998	1,002																																																
479	20 行目	<u>次章</u> で述べる	<u>492 頁以降</u> で述べる																																																
505	最終行	<u>順守</u>	<u>遵守</u>																																																
519	21 行目	<u>複号化</u>	<u>復号化</u>																																																
554	下から 2 行目	<u>508 頁</u>	<u>569 頁</u>																																																
608	23 行目	<u>540 頁</u>	<u>601 頁</u>																																																

【第 2 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的 <u>な</u> 財産	物的財産
23	17 行目	内部監査 <u>人</u> に独立性が	内部監査部門に独立性が
	18 行目	果たす <u>の</u> にあたり	果たすにあたり
	22 行目	客観性により内部監査人は	客観性があることにより、内部監査人は、
	23 行目	自己の業務の成果	自己の業務 <u>(work)</u> の成果
	24 行目	<u>可能になる</u>	<u>できる</u>
27	21 行目	外 <u>見</u> 上	外 <u>観</u> 上
41	下から 3 行目	内部監査の定義、	(削除)
66	13 行目	7つの原則を明示	7つの原則 (後の改訂で 8 番目の原則が加わり、現在は 8 つ) を明示
69	1 行目	<u>7</u> つの原則	<u>8</u> つの原則
	7 行目	果たすため	<u>適切</u> に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	(新規追加)	8. 機関投資家向けサービス提供者は、機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり、適切にサービスを提供し、インベストメン

			<u>ト・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。</u>
70	13行目	<u>2017年5月にはスチュワードシップ・コードが、2018年6月にはコーポレートガバナンス・コードが、一部改訂されました。</u>	<u>スチュワードシップ・コードは2017年5月と2020年3月に、コーポレートガバナンス・コードは2018年6月と2021年6月に一部改訂されました。今後も2～3年に1度の改訂が予想されます。</u>
72	最終行	捕捉 <u>され</u> かつ伝達	捕捉 <u>か</u> つ伝達
73	8行目	その <u>双方</u>	その <u>両方</u>
	16行目	資産の <u>保護</u>	資産の <u>保全</u>
85	20行目	手続 <u>き</u>	手続
88	4行目	手続 <u>き</u>	手続
	「内部監査のポイント」中	手続 <u>き</u>	手続
89	19行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
90	21行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
93	「内部監査のポイント」中	手続 <u>き</u>	手続
173	21行目	コントロールおよび <u>組織体のガバナンス・プロセスの有効性の評価、改善を、内部監査としての体系的手法と規律遵守の態度とを</u> もって行う	コントロールおよび <u>ガバナンスの各プロセスの有効性の評価、改善を、内部監査の専門職として規律ある姿勢で体系的な手法を</u> もって行う
175	2行目	完全な伝達とは、対象の読者に対し <u>基本的な要素を欠かす</u> ことがなく、 <u>勧告と結論を裏付けるすべての重要で適切な情報と発見事項</u> を含む。	完全な伝達とは、対象の読者にとつて <u>非常に重要な事柄を欠く</u> ことがなく、 <u>改善のための提言と結論を裏付けるすべての重要性が高くかつ関連する情報と発見事項を含む</u> ものである。
181	7行目	専門職的実施 <u>基準</u> の国際フレームワーク	専門職的実施の国際フレームワーク
209	1行目	倫理 <u>要綱</u>	倫理 <u>綱要</u>
	下から 5	組織体の <u>戦略</u> ,	組織体の、 <u>戦略</u> ,

	行目		
217	11行目	課題に	課題へ
225	13行目	専門職の正当な注意（ <u>due professional care</u> ）	専門職としての正当な注意（ <u>Due Professional Care</u> ）
242	最終行	水平的（ <u>右から左へ進む</u> ）	水平的（ <u>時間の流れを左から右へ示す</u> ）
		垂直的（ <u>上から下へ進む</u> ）	垂直的（ <u>時間の流れを上から下へ示す</u> ）
243	図表タイトル	業務の流れ図（例）	業務の流れ図（ <u>垂直的フローチャートの例</u> ）
244	4行目	水平的にビジネスフローを	水平的に <u>時間の流れに沿った</u> ビジネスフローを
	9行目	垂直的にビジネスフローを	垂直的に <u>時間の流れに沿った</u> ビジネスフローを
254	4行目	関連規則等	関連規制等
255	14行目	文書化し保存	文書化し、 <u>保存</u>
	21行目	その他の知識	その他の能力
	下から2行目	明瞭，簡潔，建設的かつ適時的	明確，簡潔，建設的， <u>完全</u> かつ適時的
264	19行目	曲解	歪曲
267	下から2行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は、 <u>以下の</u> ことを
268	2行目	<u>それらの</u>	<u>その</u>
276	10行目	知らせなければ	開示しなければ
	11行目	「以前に自らが <u>責任を負った</u> 業務」	「以前に自らが <u>職責を有した</u> 業務」
325	4行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査 <u>業務</u> の終了時
364	2行目	各監査契約の終了時に	各監査 <u>業務</u> の終了時に
390	8行目	<u>（詳細は，http://www.iaajapan.com/certifications/info/20180404.htmlを参照）</u>	（削除）
393	6行目	経済実態の前提	経済実 <u>体</u> の前提
438	11行目	加工費とは， <u>直接材料費・直接労務費・製造間接費</u> のこと	加工費とは，直接労務費・製造間接費のこと

447	解答	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B
		a. 電話対応 (時間)				a. 電話対応 (時間)	800	600	200
		b. データ処理 (件数)				b. データ処理 (件数)	640	288	352
		c. 資料作成 (枚数)				c. 資料作成 (枚数)	160	30	130
		d. 会議・打合せ (時間)				d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320
	人件費合計				人件費合計	2,000	998	1,002	

【第3刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
41	下から 3 行目	<u>内部監査の定義,</u>	(削除)
66	13 行目	7つの原則を明示	7つの原則(後の改訂で8番目の原則が加わり, 現在は8つ)を明示
69	1 行目	<u>7</u> つの原則	<u>8</u> つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	(新規追加)	<u>8. 機関投資家向けサービス提供者は, 機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり, 適切にサービスを提供し, インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。</u>
70	13 行目	<u>2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが, 2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが, 一部改訂されました。</u>	スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に, コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2~3 年に 1 度の改訂が予想されます。
85	20 行目	手続き	手続
88	4 行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上

90	21 行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>																																																
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続																																																
209	1 行目	倫理要綱	倫理綱要																																																
	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, <u>戦略</u> ,																																																
217	11 行目	課題に	課題へ																																																
255	14 行目	文書化し保存	文書化し, <u>保存</u>																																																
	21 行目	その他の <u>知識</u>	その他の <u>能力</u>																																																
	下から 2 行目	明瞭	明確																																																
264	19 行目	曲解	歪曲																																																
267	下から 2 行目	内部監査部門長は以下のことを	内部監査部門長は, <u>以下のことを</u>																																																
268	2 行目	それらの	その																																																
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ																																																
	11 行目	「以前に自らが <u>責任を負った業務</u> 」	「以前に自らが <u>職責を有した業務</u> 」																																																
325	4 行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査業務の終了時																																																
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に																																																
390	8 行目	(詳細は, http://www.iajapan.com/certifications/info/20180404.html を参照)	(削除)																																																
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提																																																
438	11 行目	加工費とは, <u>直接材料費・直接労務費・製造間接費</u> のこと	加工費とは, 直接労務費・製造間接費のこと																																																
447	解答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)				b. データ処理 (件数)				c. 資料作成 (枚数)				d. 会議・打合せ (時間)				人件費合計				<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td>640</td> <td>288</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td>160</td> <td>30</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td>400</td> <td>80</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>2,000</td> <td>998</td> <td>1,002</td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)	800	600	200	b. データ処理 (件数)	640	288	352	c. 資料作成 (枚数)	160	30	130	d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320	人件費合計	2,000	998	1,002
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)																																																			
b. データ処理 (件数)																																																			
c. 資料作成 (枚数)																																																			
d. 会議・打合せ (時間)																																																			
人件費合計																																																			
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)	800	600	200																																																
b. データ処理 (件数)	640	288	352																																																
c. 資料作成 (枚数)	160	30	130																																																
d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320																																																
人件費合計	2,000	998	1,002																																																

【第 4 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産

41	下から 3 行目	<u>内部監査の定義,</u>	(削除)
66	13 行目	7つの原則を明示	7つの原則(後の改訂で8番目の原則が加わり, 現在は8つ)を明示
69	1 行目	<u>7</u> つの原則	<u>8</u> つの原則
	7 行目	果たすため	<u>適切</u> に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の 間	(新規追加)	<u>8. 機関投資家向けサービス提供者は, 機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり, 適切にサービスを提供し, インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべきである。</u>
70	13 行目	<u>2017 年 5 月にはスチュワードシップ・コードが, 2018 年 6 月にはコーポレートガバナンス・コードが, 一部改訂されました。</u>	<u>スチュワードシップ・コードは 2017 年 5 月と 2020 年 3 月に, コーポレートガバナンス・コードは 2018 年 6 月と 2021 年 6 月に一部改訂されました。今後も 2~3 年に 1 度の改訂が予想されます。</u>
85	20 行目	<u>手続き</u>	手続
88	4 行目	<u>手続き</u>	手続
	「内部監査のポイント」中	<u>手続き</u>	手続
89	19 行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
90	21 行目	マトリクス <u>状</u>	マトリクス <u>上</u>
93	「内部監査のポイント」中	<u>手続き</u>	手続
209	1 行目	<u>倫理要綱</u>	<u>倫理綱要</u>
	下から 5 行目	組織体の戦略,	組織体の, <u>戦略,</u>
217	11 行目	<u>課題に</u>	<u>課題へ</u>
255	14 行目	文書化し保存	文書化し, <u>保存</u>
	21 行目	その他の <u>知識</u>	その他の <u>能力</u>

	下から 2 行目	明瞭	明確																																																
264	19 行目	曲解	歪曲																																																
268	2 行目	それらの	その																																																
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ																																																
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」																																																
325	4 行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査業務の終了時																																																
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に																																																
390	8 行目	(詳細は、 http://www.iaajapan.com/certifications/info/20180404.html を参照)	(削除)																																																
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提																																																
438	11 行目	加工費とは、直接材料費・直接労務費・製造間接費のこと	加工費とは、直接労務費・製造間接費のこと																																																
447	解答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)				b. データ処理 (件数)				c. 資料作成 (枚数)				d. 会議・打合せ (時間)				人件費合計				<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td>640</td> <td>288</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td>160</td> <td>30</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td>400</td> <td>80</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>2,000</td> <td>998</td> <td>1,002</td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)	800	600	200	b. データ処理 (件数)	640	288	352	c. 資料作成 (枚数)	160	30	130	d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320	人件費合計	2,000	998	1,002
		Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																														
a. 電話対応 (時間)																																																			
b. データ処理 (件数)																																																			
c. 資料作成 (枚数)																																																			
d. 会議・打合せ (時間)																																																			
人件費合計																																																			
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)	800	600	200																																																
b. データ処理 (件数)	640	288	352																																																
c. 資料作成 (枚数)	160	30	130																																																
d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320																																																
人件費合計	2,000	998	1,002																																																

【第 5 刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係
22	1 行目	物的な財産	物的財産
66	13 行目	7つの原則を明示	7つの原則(後の改訂で8番目の原則が加わり、現在は8つ)を明示
69	1 行目	7つの原則	8つの原則
	7 行目	果たすため	適切に果たすため
	18 行目	深い理解に基づき	深い理解のほか運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき
	19 行目と 20 行目の間	(新規追加)	8. 機関投資家向けサービス提供者は、機関投資家がスチュワードシップ責任を果たすに当たり、適切にサービスを提供し、インベストメント・チェーン全体の機能向上に資するものとなるよう努めるべ

			きである。
70	13行目	<u>2017年5月にはスチュワードシップ・コードが、2018年6月にはコーポレートガバナンス・コードが、一部改訂されました。</u>	スチュワードシップ・コードは <u>2017年5月と2020年3月に、コーポレートガバナンス・コードは2018年6月と2021年6月に一部改訂されました。今後も2～3年に1度の改訂が予想されます。</u>
85	20行目	手続き	手続
88	4行目	手続き	手続
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
89	19行目	マトリクス状	マトリクス上
90	21行目	マトリクス状	マトリクス上
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続
209	1行目	倫理要綱	倫理綱要
	下から5行目	組織体の戦略,	組織体の, 戦略,
255	14行目	文書化し保存	文書化し, 保存
	21行目	その他の知識	その他の能力
	下から2行目	明瞭	明確
264	19行目	曲解	歪曲
268	2行目	<u>それらの</u>	<u>その</u>
276	10行目	<u>知らせなければ</u>	<u>開示しなければ</u>
	11行目	「以前に自らが <u>責任を負った業務</u> 」	「以前に自らが <u>職責を有した業務</u> 」
325	4行目	a 各 <u>監査契約</u> の終了時	a 各 <u>監査業務</u> の終了時
364	2行目	各 <u>監査契約</u> の終了時に	各 <u>監査業務</u> の終了時に
393	6行目	経済実態の前提	経済実体の前提
438	11行目	加工費とは、 <u>直接材料費・直接労務費・製造間接費</u> のこと	加工費とは、 <u>直接労務費・製造間接費</u> のこと

447	解答	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B
		a. 電話対応 (時間)				a. 電話対応 (時間)	800	600	200
		b. データ処理 (件数)				b. データ処理 (件数)	640	288	352
		c. 資料作成 (枚数)				c. 資料作成 (枚数)	160	30	130
		d. 会議・打合せ (時間)				d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320
		人件費合計				人件費合計	2,000	998	1,002

【第6刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正						
21	下から 2 行目	指示報告関係	指示・報告関係						
22	1 行目	物的な財産	物的財産						
85	20 行目	手続き	手続						
88	4 行目	手続き	手続						
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続						
89	19 行目	マトリクス状	マトリクス上						
90	21 行目	マトリクス状	マトリクス上						
255	14 行目	文書化し保存	文書化し、保存						
	21 行目	その他の知識	その他の能力						
	下から 2 行目	明瞭	明確						
264	19 行目	曲解	歪曲						
268	2 行目	それらの	その						
276	10 行目	知らせなければ	開示しなければ						
	11 行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」						
325	4 行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査業務の終了時						
364	2 行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に						
393	6 行目	経済実態の前提	経済実体の前提						
447	解答	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B
		a. 電話対応 (時間)				a. 電話対応 (時間)	800	600	200
		b. データ処理 (件数)				b. データ処理 (件数)	640	288	352
		c. 資料作成 (枚数)				c. 資料作成 (枚数)	160	30	130
		d. 会議・打合せ (時間)				d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320
		人件費合計				人件費合計	2,000	998	1,002

【第7刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正																																																
21	下から2行目	指示報告関係	指示・報告関係																																																
22	1行目	物的な財産	物的財産																																																
85	20行目	手続き	手続																																																
88	4行目	手続き	手続																																																
	「内部監査のポイント」中	手続き	手続																																																
89	19行目	マトリクス状	マトリクス上																																																
90	21行目	マトリクス状	マトリクス上																																																
93	「内部監査のポイント」中	手続き	手続																																																
268	2行目	それらの	その																																																
276	10行目	知らせなければ	開示しなければ																																																
	11行目	「以前に自らが責任を負った業務」	「以前に自らが職責を有した業務」																																																
325	4行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査業務の終了時																																																
364	2行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に																																																
393	6行目	経済実態の前提	経済実体の前提																																																
447	解答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)				b. データ処理 (件数)				c. 資料作成 (枚数)				d. 会議・打合せ (時間)				人件費合計				<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td>640</td> <td>288</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td>160</td> <td>30</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td>400</td> <td>80</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>2,000</td> <td>998</td> <td>1,002</td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)	800	600	200	b. データ処理 (件数)	640	288	352	c. 資料作成 (枚数)	160	30	130	d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320	人件費合計	2,000	998	1,002
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)																																																			
b. データ処理 (件数)																																																			
c. 資料作成 (枚数)																																																			
d. 会議・打合せ (時間)																																																			
人件費合計																																																			
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)	800	600	200																																																
b. データ処理 (件数)	640	288	352																																																
c. 資料作成 (枚数)	160	30	130																																																
d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320																																																
人件費合計	2,000	998	1,002																																																

【第8刷・第9刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤	正																																																
325	4行目	a 各監査契約の終了時	a 各監査業務の終了時																																																
364	2行目	各監査契約の終了時に	各監査業務の終了時に																																																
447	解答	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)				b. データ処理 (件数)				c. 資料作成 (枚数)				d. 会議・打合せ (時間)				人件費合計				<table border="1"> <thead> <tr> <th>Activity (コスト・ドライバー)</th> <th>コスト (万円)</th> <th>サービス A</th> <th>サービス B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 電話対応 (時間)</td> <td>800</td> <td>600</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>b. データ処理 (件数)</td> <td>640</td> <td>288</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>c. 資料作成 (枚数)</td> <td>160</td> <td>30</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>d. 会議・打合せ (時間)</td> <td>400</td> <td>80</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>人件費合計</td> <td>2,000</td> <td>998</td> <td>1,002</td> </tr> </tbody> </table>	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	a. 電話対応 (時間)	800	600	200	b. データ処理 (件数)	640	288	352	c. 資料作成 (枚数)	160	30	130	d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320	人件費合計	2,000	998	1,002
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)																																																			
b. データ処理 (件数)																																																			
c. 資料作成 (枚数)																																																			
d. 会議・打合せ (時間)																																																			
人件費合計																																																			
Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B																																																
a. 電話対応 (時間)	800	600	200																																																
b. データ処理 (件数)	640	288	352																																																
c. 資料作成 (枚数)	160	30	130																																																
d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320																																																
人件費合計	2,000	998	1,002																																																

【第10刷をお持ちの方】

頁	訂正箇所	誤				正			
		Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B	Activity (コスト・ドライバー)	コスト (万円)	サービス A	サービス B
447	解答	a. 電話対応 (時間)				a. 電話対応 (時間)	800	600	200
		b. データ処理 (件数)				b. データ処理 (件数)	640	288	352
		c. 資料作成 (枚数)				c. 資料作成 (枚数)	160	30	130
		d. 会議・打合せ (時間)				d. 会議・打合せ (時間)	400	80	320
		人件費合計				人件費合計	2,000	998	1,002

以上